



「(人・もの・ことに)主体的にかかわり、仲間とともに伸びようとする子」を育てる

平成28年度第2回学校関係者評価委員会の報告

年度末に第2回学校関係者評価委員会を開催し、年間を通じての学校運営の成果と次年度の更新策を委員の方々に説明しました。それらが妥当であるか、委員の方々のご意見をいただきましたので報告します。なお、この会への出席は、PTA 会長・萩原敏和様、高浜まちづくり協議会会長・菱田倉三郎様、高浜中学校校務主任・杉浦利幸様、高浜幼稚園長代理・深谷めぐみ様、中央保育園長・杉浦さと様です。この場を借りてお礼申し上げます。ご意見を来年度の学校運営に反映させていただきます。

1 児童の主体性を育てる指導部取組の充実 **A判定**

成果と更新策	<p>☆指導部提案例「なかよし給食」で自分からすすんでペア学年の子に関わった 84.0 → 87.6%</p> <p>☆委員会提案例「あいさつ運動」で自分からすすんであいさつをした 70.6 → 73.3%</p> <p>・今年度からの児童会担当者が、児童会行事や委員会の在り方を、子どもがより主体的になるように提言し、各委員会の共通理解が図られてきた。次年度は、できるだけ多くの委員会が集会等で提案する場を設定する。</p> <p>・「あいさつヒーロー」など、子どもたちの自主的な参加を呼びかけていて、やる気を重んじた。集まってきた子どもたちが核になって活動することによって、周りの子どもたちへよい影響を及ぼした。</p> <p>☆挑戦課題の学校・学年行事に自分からすすんで取り組んだ 84.5 → 88.4%</p> <p>・学年ごとに目指す子ども像を掲げ、子どもたちが目標をもって取り組み、成長を振り返った。</p> <p>・特に、高学年は、学年目標（学年訓）を掲げ、学年が一団となって大きな行事に取り組むことができた。そして、高学年として、自分の役割を、責任を持って果たした。</p>
--------	--

児童会・委員会の取組について

- ・中学校でも同様に、委員会ごとに、生徒が主体的に取り組むような新しい取り組みが毎年出てきている。
- ・委員会を行うのは月1回程度で常時活動が主である点は、小学校と変わらない。
- ・生徒会が変わるたびに「どんな高中にしたいか」を考え、スローガンを決めて、文化祭や体育大会に取り組んでいる。また各学年においても、生徒が「どんな学年にしたいか」を考え、学年ごとのスローガンを決めている。(高浜中学校校務主任・杉浦利幸様)

高小の子どもたちのあいさつについて



【あいさつは人と人の結びつき】

・最初の頃は、あいさつするのは自分の子 どもと同級生の子などだけだったが、今では、学年に関係なくできるようになってきたと感じる。校外でも、子どもの方からあいさつしてくる。躊躇するような雰囲気があるとあいさつしにくい。みんながあいさつしているとしやすいのでは？〈PTA 会長・萩原敏和 様〉

・顔なじみの子はあいさつをしてくれる。そうすると、知らない周りの子もあいさつしてくれる。あいさつをこちらからすると習慣がつくようになり、習慣になれば自然にする。〈高浜幼稚園長代理・深谷めぐみ様〉

2 主題に迫る授業力、学級経営力の向上 **B 判定**

成 果 と 更 新 策	<p>☆学習の約束（チャイム着席、挙手、返事、大きな声、向き）を自分からすすんでした 60.6 → 57.1%</p> <p>☆聴き合い話し合うこと（発表・聞く・比べる）を自分からすすんでした 64.4 → 59.6%</p> <p>・研究主題に沿って全体授業や公開授業を実施した。徐々に本校の授業スタイルができてきた。継続的なスピーチ活動を通じて「学習の約束」や「聴き合い、話し合う」もできてきた。</p> <p>魅力的な課題を出し「どう思う？」→「…。どうしてかという」と「〇〇さんとよく似ていて（ちょっと違って）…」と発言していく過程で問題に気づく→問題を切り口に考えを深める。→友だちの意見を聞き、改めて自分の考えをまとめる。</p> <p>次年度は、考えを深める手立てをさらに工夫していくとともに、学習規律を「高小スタンダード」設定する。</p> <p>☆自主学習を「自分からすすんで」した 70.9 → 66.9%</p> <p>漢字計算コンクールの自主学習を「自分からすすんで」した 61.6 → 68.2%</p> <p>・4年生以上で週末に「自主学習」を課し、学力の定着を図ろうとした。意欲的な児童もいるが、個人差はあった。漢字計算コンクール等、目標があるとがんばれた。今後も自学の意味や価値を共有しながら実施する。</p> <p>☆学級目標を意識して、「自分からすすんで」行動した 62.8 → 56.2%</p> <p>・学級経営や学級目標立てが学級開き前に提案され、それぞれの学年・学級が取り組んだ。学級目標の振り返りもその都度できた。学級に問題があれば、全員で話し合い、解決しようとした。来年度は年度初めに学級経営研修を行い、さらに全教員の授業を講師にご指導いただく。</p>
----------------------------	---

「学習規律」や「聞き合う」授業についてー授業を参観してー

・（1年国語の授業を観て）つなぎ言葉を使って意見が出ているので、「聞き合う」授業ができていると思った。

- ・(3年道徳の授業を見て) 今後、道徳の時間が増えていくとよい。スマホなど様々なところから情報だけが早く入りすぎてしまう時代になり、それに対処するためには自分で判断材料を持たないといけない。そういった点で、昔以上に道徳の必要性を感じている。
- ・グループ活動なども増やすと、子ども同士の話し合うことで意識化されたり、ほかの子の意見を聞くことで、判断材料が増えたりする。家庭内だけで話していても、家庭だけの判断材料になってしまうので、わがままが通ってしまうようなこともある。(PTA 会長・萩原様)



【「私は、高男君と同じで、・・・」】

幼稚園・保育園で、この時期、小学校入学に向けて特別に取り組むことはありますか？

- ・年長になると「1年生になったら」ということを意識して学級経営している。
- ・グループ活動はあまりないが、クラスでまとまって話し合うことはある。
- ・話を聞く時に向きを変える指導はしている。(中央保育園長・杉浦さと様)

3 組織力の向上を目指したミドルリーダーの育成 **B判定**

成果と更新策	<p>☆学年主任、各指導部部長、体育主任、児童会担当、研究主任として目標を設定した教員の自己評価シート A・B・C の割合 A 20%、B 73%、C 7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年内の役割分担は、いずれも学年主任がよく考えており、学年主任が若手をしっかり支え、2番手の力で若手の力を引き出そうとした。それぞれの立場で力を発揮した。 ・研究主任はもちろん、各指導部部長、体育主任、児童会担当も研究主題に沿った取組ができた。 ・研究発表や新学習指導要領移行、校舎建替えを見据え、ミドルリーダーの力量を上げる。
--------	--



【夏休みに汗をかきながら『かさじぞう』模擬授業】

ミドルリーダーについて

- ・中学校では、各学年主任が方針をしっかりと打ち出し、学年内の分掌において、それぞれの先生が学年をリードしている。特に、健全育成部については、週1回、各学年の担当の先生が集まって話し合い、それを各学年へ伝えていくシステムができています。(高浜中・杉浦様)

4 目指す高浜っ子を育てる家庭・地域・幼保中との協働 **B判定**

成果と更新策	<p>☆「夏休みの課題」 親から見て子どもは自分からすすんでやった 40.0%</p> <p>☆「夏休みお手伝い」 親から見て子どもは自分からすすんでやった 37.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習」「お手伝い」「挑戦する夏休み（自由研究）」等を通して、子どもの主体性を延ばそうとしたが、家庭の協力をまだまだ必要としている。 ・いくつもの学校行事にPTA委員会が協力してくださった。夏・冬のイベントにはそれぞれ500名前後の参加者があり、子どもたちの活躍を大勢の保護者や教職員が支えることができた。 ・学校の教科等に関連し、必要とする協力を得ることができた。また、校外での交通安全や防犯、地域行事、学校の環境整備等にも協力をしていただいた。カリキュラムに組み込まれていて、定着しつつある。 ・この夏休み、中学校部活動見学会、南中リーダー研修会、防災リーダー研修会等、小学校高学年と中学生との交流が進んだ。自分がどんな中学生になるのか意識する機会になった。 ・複合施設の入る関係団体との協議の中で、「地域の子どもは地域で育てる」意識を高めていく。
--------	---

高浜まちづくり協議会との協働について

- ・夏まつりなどへの協力は続けていく。〈高浜まち協・菱田様〉

幼保小中連携について

- ・異校種参観では、幼稚園・保育園や小学校の先生方から学ぶことが多い。（高浜中・杉浦様）

自主学习やお手伝い 一子どもの自己評価と

保護者の評価に開きがあることについてー

- ・小学生に「自学自習」を求めるのは、要求が高すぎるのでは？勉強が好きな子はあまりいないし、勉強は中学校ですればよいと思う。

（高浜中・杉浦様）

- ・「自主学习」といっても漠然としており、子どもたちは何をしてもよいかわからないので、親がある程度提案して目標を決めている。決めてしまえば自分で取り組むことができている。
 - ・お手伝いについても、子どもが自分から率先してやることを見つけるのはなかなか難しい。決めればやることはできる。そのあたりが、子ども自身の評価と親の評価に差がある理由では？
- 〈PTA 会長・萩原様〉



【まち探検「八百屋さんで魚を売っているよ！」】